

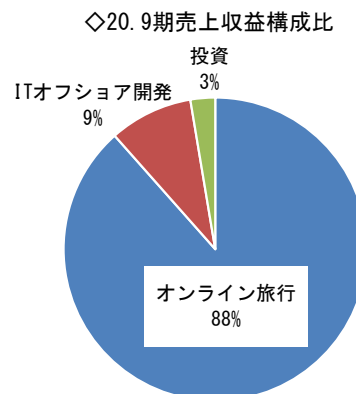
企業ニュース エアトリ

(東証1部: 6191) <https://www.airtrip.co.jp/>

作成者: 高見澤晶子

国内線の航空券に強み

オンライン旅行サイト「エアトリ」を運営。主力のオンライン旅行事業では、航空券の単品・宿泊とのセット販売を中心に、訪日旅行者向けサービスの提供や各種レンタル事業などを手掛ける。特に国内航空券においては、航空会社と直接契約を結んで航空券を調達しており、中間コストを削減している点が特長。そのほか、自社システム開発などを手掛けるITオフショア開発事業、ベンチャー企業への投資を行う投資事業を営む。コロナ禍で航空券販売や訪日旅行者向けサービスは苦戦しているが、テレワーク向けのWi-Fiルーターのレンタル、医療機関と提携したPCR・抗体検査サービスの提供など外部環境の変化に迅速に対応し、主力事業の落ち込みをカバーしている。



(出所) エアトリ資料よりCAM作成

第2四半期累計の営業利益は過去最高を更新

21.9期・第2四半期累計(10-3月)の連結業績は、売上収益が112億円、前年同期比24%減、営業利益が20億円、同33億円増(前年同期は13億円の赤字)。オンライン旅行事業は売上収益が99億円、同27%減、セグメント利益は14億円、同19億円増(前年同期は5億円の赤字)。第1四半期(10-12月)の政府のGo Toトラベル事業は追い風となったが、全体としてはコロナ禍の影響が大きかった。利益面では広告宣伝費の見直しなどコストコントロールに加え、PCR・抗体検査の需要獲得も貢献した。またITオフショア開発事業や投資事業も増益に寄与した。

21.9期の通期会社計画は、売上収益が190億円、前期比10%減、営業利益が26億円、同114億円増(前期は88億円の赤字)。上期までの実績と、金券ショップを運営する子会社のナショナル流通産業の連結除外を踏まえ、4月公表の計画から売上収益を53億円減額した一方、営業利益を13億円増額した。PCR・抗体検査の需要は徐々に減少しようが、ワクチン接種の進展に伴い国内旅行需要が回復するとみられ、主力事業を中心とした業績改善が期待できよう。

【株価動向・投資判断】

旅行業界の中で相対的に堅調な業績を維持している点を評価したい。国内旅行需要が回復する中では当社の国内線航空券販売の強みが発揮されよう。

<6191 エアトリ 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
19.9	24,306 (96)	680 (▲ 41)	588 (▲ 48)	733 (▲ 14)	39.1	10.00
20.9	21,191 (▲ 13)	▲ 8,760 (-)	▲ 8,956 (-)	▲ 8,380 (-)	▲ 418.2	10.00
21.9 予	19,000 (▲ 10)	2,600 (-)	2,540 (-)	1,672 (-)	78.1	-

(注) 20.9期・第4四半期に子会社ひかわを連結から除外。20.9期の売上収益、営業利益、税引前利益は継続事業の金額。21.9期の1株配当予想額は未定。



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2021/6/18)	2,866 円
年初来高値(高値日)	3,160 円 (21/5/31)
同 安値(安値日)	1,187 円 (21/1/5)
予想 P E R (21.9 予)	36.7 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	212.2 円
P B R	13.51 倍
予想配当利回り	- %
(1株当たり配当金 未定)	
R O E (20.9)	▲ 140.0 %
発行済み株式数	2,142 万株